

TRAKTOR KONTROL X1



オペレーション マニュアル



この説明書に含まれる情報は、予期せぬ変更を含み、Native Instruments GmbH の側で責任を代理するものではありません。この説明書によって記述されるソフトウェアはライセンス同意を必要とし、他の媒介に複製してはなりません。Native Instruments GmbH が事前に書面で許可しない限り、どのような目的においても、この出版物のいかなる部分も複製、複写、またはその他の方法での伝達や記録することは許されません。全ての製品・会社名は各所持者の登録商標です。

加えて、これを読む人は、このソフトを正規に購買したものであるとします。お客様のおかげで私達はより良いツールを製作していくことが可能になるので、ここに謝辞を惜しむものではありません。

マニュアル執筆: Dave Turov

資料バージョン: 1.0 (11/2009)

製品バージョン: 1.0 (11/2009)

製品の向上とバグ報告に関ったベータテスト参加者に特別な感謝をささげます.

Germany

Native Instruments GmbH

Schlesische Str. 28

D-10997 Berlin

Germany

info@native-instruments.de

www.native-instruments.de

USA

Native Instruments North America, Inc.

5631 Hollywood Boulevard

Los Angeles, CA 90028

USA

sales@native-instruments.com

www.native-instruments.com



© Native Instruments GmbH, 2009. 無断複写・転載を禁じます。

目次

1	Welcome to the TRAKTOR KONTROL X1!	5
2	安全上のご注意	6
2.1	警告	6
2.2	Caution	6
2.3	重要事項	7
3	最低システム要件	8
3.1	Windows®	8
3.2	Mac	8
3.3	全般	8
4	インストール	9
4.1	TRAKTOR KONTROL X1ソフトウェアのインストール	9
4.2	TRAKTOR KONTROL X1ハードウェアを接続する	10
5	TRAKTOR KONTROL X1ハードウェア	11
5.1	TRAKTOR KONTROL X1ハードウェアの外観	12
5.1.1	表面	12
5.1.2	側面	13
5.2	TRAKTOR KONTROL X1モード	13
5.2.1	NHLモード	13
5.2.2	MIDIモード	14
5.3	TRAKTOR KONTROL X1コントローラ機能	15
6	TRAKTORでTRAKTOR KONTROL X1を使う	16
6.1	エフェクト・セクション	16
6.1.1	上部のつのFXボタンとノブ	17
6.1.2	FXアサイン・ボタン	18
6.2	ブラウズ・セクション	18
6.3	ループ・セクション	19
6.3.1	ループの微調整	20

6.4	トランスポート・セクション	21
6.5	HOTCUEモード	22
6.5.1	上級者向けのHotcueとHotloopの使い方	23
6.6	TRAKTORで2台のTRAKTOR KONTROL X1を使用する	23
6.6.1	TRAKTOR上での2台のTRAKTOR KONTROL X1のマッピング	24
7	TRAKTOR KONTROL X1の詳細設定	25
8	トラブルシューティング	27
8.1	ハードウェアに関連する問題を解決する	27
8.2	USBのトラブルシューティング	28
8.2.1	USB 2.0が必要です	28
8.2.2	他のUSBケーブルを試してみる	28
8.2.3	電源供給が付いたUSB 2.0のハブを使う	28
8.3	TRAKTOR KONTROL X1ソフトウェアのトラブルシューティング	28
8.3.1	Windows®でドライバをインストールする際の注意	29
8.3.2	ドライバのアップデート	29
8.3.3	USBの省エネ・モードを無効にする (Windows®のみ)	29
9	Getting Help.....	30
9.1	Readme/Knowledge Base/Online Support	30
9.1.1	Readme	30
9.1.2	Knowledge Base	30
9.1.3	オンライン・サポート	30
10	付録.....	31
10.1	TRAKTOR PRO/SCRATCH PROデフォルト・マッピング一覧表	31
10.2	TRAKTOR DUO/SCRATCH DUOのデフォルト・マッピング一覧表	34
10.3	TRAKTOR LE Default Mapping Table	36
10.4	TRAKTOR KONTROL X1デフォルトMIDIマッピング一覧表	39
10.4.1	基本MIDIマッピング	39
10.4.2	SHIFTボタンでのMIDIマッピング	40

1 Welcome to the TRAKTOR KONTROL X1!

TRAKTOR KONTROL X1へようこそ！

Native Instruments製品をお買い上げのお客様へ

TRAKTOR KONTROL X1をお買い上げ頂き、またNative Instruments製品へのご信頼をくださりありがとうございます。

TRAKTOR KONTROL X1はDJのためのTRAKTORソフトウェア専用のコントローラで、TRAKTORの作成者によりデザインされ、ソフトウェアとの完璧な統合が実現されています。以下がその例です。

- 優れたボタンとノブで、ハイエンドなハードウェアのフィーリングを実現。
- ソフトウェアによりコントロールされるバックライト付きのボタンで、視覚的に全体が分かり易くなっています。
- MIDIよりも優れた特許付きの高解像度TRAKTOR NHLプロトコル。
- TRAKTORの前バージョンとMIDIスタンダードに対応したソフトウェアをコントロールするためのMIDI機能
- 軽量で、スリム、非常にポータブルで頑丈なボディ。標準的なクラブ・ミキサーにぴったりです。
- 拡張可能性—4デッキと4つのエフェクト・ユニットをコントロールするため、2台のTRAKTOR KONTROL X1を接続できます。
- 対応：他のDJとパフォーマンス・ソフトウェアをコントロールするためのテンプレートが入っています。

上記の二つともお近くの取り扱い販売店またはNative Instrumentsのオンライン・ショップにてご購入いただけます。www.native-instruments.com/en/shop/

2 安全上のご注意

以下のセクションにはTRAKTOR KONTROL X1ハードウェアの使用方法についての重要な情報が含まれています。TRAKTOR KONTROL X1をご使用になる前にお読みください。

2.1 警告

- TRAKTOR KONTROL X1ハードウェアにはユーザー様がご使用になれるものは何也没有什么ありません。ハードウェアを開いたり、分解したり、ハードウェアの中を変更しないでください。万が一ハードウェアに故障が見つかった場合は、すぐに使用を止めて、Native Instrumentsへご連絡ください。
- TRAKTOR KONTROL X1を液体にさらさないでください。また水分や湿気のある所では使用しないでください。コントローラの上には絶対に何も置かないようにしてください。ハードウェアの中に物体や液体が入らないように十分注意してください。

2.2 Caution

注意

- ボタン、ノブ、コネクタには余計な力をかけないようにしてください。
- 極端に温度が高い所（例えば、車内の直射日光、または熱源の近く）、または極端に大きな振動がある所には置かないようにしてください。
- TRAKTOR KONTROL X1をクリーニングするには、柔らかい、乾いた布などをご使用ください。溶剤、洗浄液、化学雑巾は使用しないでください。
- TRAKTOR KONTROL X1を操作することにより、あなたと聴衆が熱狂することになるかもしれません。注意深く使用し、ドリンクやスナックなどが飛んでくるかもしれませんので、お気をつけ下さい。

2.3 重要事項

- 免責事項：Native Instruments GmbHは、TRAKTOR KONTROL X1のハードウェアまたはソフトウェアの不適切な使用または変更を行った場合のダメージ、データ損失には責任を負いません。
- 仕様の変更について：本マニュアルに記載されている情報は印刷時には正しいものと捉えられています。ですが、Native Instruments GmbHは、予告なしにいつでもソフトウェアやハードウェアの仕様を変更することができます。
- シリアル・ナンバーの記載場所：TRAKTOR KONTROL X1のシリアル・ナンバーはTRAKTOR KONTROL X1ハードウェア裏側に記載されています。
- 廃棄上の注意：本製品が修理が効かないほどに損壊した場合、または他の理由で寿命が来てしまった場合、お住まいの国の電気製品の廃棄に関する全ての規定に遵守するようにしてください。
- 著作権：© Native Instruments GmbH 2010. All rights reserved. Native Instruments GmbHの書面による許可がない限り、この出版物の一部または全部を複製、要約、転写、検索システムへの保存、あるいは他の言語への翻訳はいかなる形式、いかなる手段でも禁止されています。
- 製品名、企業名はすべて各社の商標、または登録商標です。

3 最低システム要件

3.1 Windows®

Windows® XP (SP2, 32Bit), Vista (SP1, 32Bit, 64Bit), Windows® 7 (32Bit, 64Bit), Pentium IV or Athlon 1.4 GHz (SSE1互換), 1 GB RAM

3.2 Mac

Mac OS® X 10.5, Mac OS® X 10.6, Intel® Core Duo 1.66 GHz, 1 GB RAM

3.3 全般

1024 x 768以上の解像度を表示できるモニターUSB 2.0, DVDドライブ

最新システム要件、最新OSへの対応、サポートについては、弊社のウェブサイト
www.native-instruments.com/x1をご覧ください。

4 インストール

TRAKTOR KONTROL X1のインストール処理によりインストールされる内容をご説明いたします。さらに、TRAKTOR KONTROL X1ハードウェアのコンピュータへの接続についてご説明いたします。

4.1 TRAKTOR KONTROL X1ソフトウェアのインストール



TRAKTOR KONTROL X1ソフトウェアのインストール方法についての詳細はTRAKTOR KONTROL X1のクイック・スタート・ガイドにあります。先に進まれる前に、そのマニュアルに記載されている手順に従ってください。

TRAKTOR KONTROL X1を使用される前に、TRAKTOR KONTROL X1クイック・スタート・ガイドで記述している通り、ドライバをインストールしていただく必要があります。ドライバはTRAKTOR KONTROL X1ハードウェアとコンピュータ上で起動しているOSとアプリケーションの間のコミュニケーションを行います。

TRAKTOR KONTROL X1のソフトウェアのインストールは、2つのコンポーネントで構成されています。

- TRAKTOR KONTROL X1 driver
- Controller Editor software



Controller Editorの詳細情報については、TRAKTOR KONTROL X1のController Editorマニュアルをご参照ください。

ドライバ自体は直接のアクセスはできません。OS上の他のドライバと同様、これはシステム起動時に背景で読み込まれているソフトウェアとなります。ドライバはUSB 2.0経由 (NHLとMIDIモード) でTRAKTOR KONTROL X1で送受信される全てのコミュニケーションを管理します。

Controller Editorのインストールで、NI Hardware Agentサービスもインストールされます。これは、TRAKTOR KONTROL X1をMIDIモードで操作する際に必要となります。

TRAKTORのNHLモードでは、TRAKTOR KONTROL X1とController Editorのインストールの他に何も追加設定は必要ありません。

TRAKTOR KONTROL X1は標準MIDIコントローラとして使用できるように事前に設定されています (SHIFTを押したまま、HOTCUEを押すと、MIDIモードになります)。詳細情報については、セクション5.2 (TRAKTOR KONTROL X1 Modes) をご参照ください。

以下のセクションでは、Windows®とMac OS® X上でのTRAKTOR KONTROL X1のインストールについて詳細をご説明しています。TRAKTOR KONTROL X1ソフトウェアのインストールには二つの方法があります。

- TRAKTORソフトウェア (特定のバージョン以降) の一部としてのインストール

または

- TRAKTOR KONTROL X1スタンドアロン・ソフトウェアとしてのインストール



DVD上のReadmeファイルを常に参照するようにしてください。このファイルには印刷マニュアルにはない最新情報が記載されています。

4.2 TRAKTOR KONTROL X1ハードウェアを接続する



TRAKTOR KONTROL X1ハードウェアのコンピュータへの接続方法の詳細はTRAKTOR KONTROL X1のクイック・スタート・ガイドにあります。先に進まれる前に、そこに記載されている手順を行ってください。



ドライバのインストールが完了するまでTRAKTOR KONTROL X1の接続を解除しないでください。

ソフトウェアのインストールが完了しましたら、TRAKTOR KONTROL X1を付属のUSBケーブルで、使用可能なUSB 2.0 (またはそれ以降) へ接続してください。詳細については、TRAKTOR KONTROL X1のクイック・スタート・ガイドをご参照ください。



TRAKTOR KONTROL X1はUSB 1.1ポートへはインストールできません。USB 2.0ポートが必要です。

5 TRAKTOR KONTROL X1ハードウェア

TRAKTOR KONTROL X1には以下の特徴があります。

- プロフェッショナル・クオリティの構造で、要求度の高い状況でも完璧なコントロールが可能。
- 最高品質のボタン、エンコーダ、ノブで、分かりやすい表示
- 色分けされたLEDのライトで、状況と機能を視覚的に即座にモニタリング
- 設定の要らないTRAKTORソフトウェアとのシームレスな統合
- MIDIプロトコルを使用している全てのハードウェアまたはソフトウェア・システムの設定可能なMIDIコントロール
- オプションで、TRAKTOR KONTROL X1持ち運び用ケース/パフォーマンス・スタンドとMIDIコントロール用のオーバーレイ・シートがお近くの取り扱い販売店、またはNative Instrumentsのウェブショップwww.native-instruments.com/en/shop/にてお買い求めいただけます。

5.1 TRAKTOR KONTROL X1ハードウェアの外観

5.1.1 表面



- 1 FXコントロール・セクション
- 2 ブラウズと読み込みのセクション
- 3 ループ・セクション
- 4 トランスポート・セクション

5.1.2 側面



- 1 USBインプット
- 2 盗難防止スロット

5.2 TRAKTOR KONTROL X1モード

TRAKTOR KONTROL X1をTRAKTORで使用する際、TRAKTOR KONTROL X1のデフォルト設定には、下記のように2つのモードがあります。

5.2.1 NHLモード



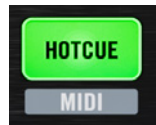
NHLモードはTRAKTORバージョン1.2.3以降にのみ対応しています。これ以前のTRAKTORバージョンでは、TRAKTOR KONTROL X1のMIDIモードをご使用ください。

- このモードではTRAKTOR KONTROL X1はUSB経由でNative Instrumentsの特許NHLプロトコルを使用してTRAKTORと直接コミュニケーションします。このプロトコルは、TRAKTOR KONTROL X1のノブの高解像度の翻訳を行い、MIDIよりも優れています。通常のTRAKTORコントロールでは、このモードを使用することになります。
- NHLモードでは、HOTCUEボタンは光りません（あるいは、HOTCUEモードの間、光ります）。TRAKTOR KONTROL X1上の各ボタンとエンコーダはTRAKTORの各パラメータを直接コントロールします。
- TRAKTORのデフォルトのTRAKTOR KONTROL X1マッピングは、TSI設定ファイルに保存されています（*.tsiという拡張子）。これはお好みによりTRAKTORのController Managerでの設定でカスタマイズできます（*Preferences > Controller Manager*）。
 - TRAKTOR KONTROL X1のマッピングのカスタマイズのガイドは弊社のウェブサイトwww.native-instruments.com/x1にあります。
 - TRAKTOR KONTROL X1のデフォルトのマッピングについての詳細は、セクション10.4をご参照ください。

5.2.2 MIDIモード

MIDIモードでは、TRAKTOR KONTROL X1はMIDIデータのみをバーチャルMIDIポート経由で転送します。このバーチャルMIDIポートはTRAKTOR KONTROL X1のドライバによりホストコンピュータのOSシステムへインストールされます。

- ▶ MIDIモードへアクセスするには、SHIFTを押しながら、HOTCUEを押します。MIDIモードでは、HOTCUEボタンは常に緑色に光ります。そうすると、TRAKTOR KONTROL X1は通常のMIDIコントローラのようにMIDIデータを送信するようになります。



MIDIモードの時は、緑色に光るHOTCUEボタンはモード確認用インジケータとして動作するようになり、機能がなくなります。

TRAKTOR KONTROL X1をTRAKTORの前バージョン (1.2.3以前) で使用する場合は、MIDIモードが必要になります。1.2.3より以前のバージョンはNHLプロトコルに対応していません。

TRAKTORの前のTRAKTOR KONTROL X1のMIDIマッピングはNative InstrumentsのTRAKTORのウェブサイトwww.native-instruments.com/x1にあります。

- TRAKTORの前バージョンのためにTRAKTOR KONTROL X1のMIDIマッピングをカスタマイズするには、TRAKTORのCONTROLLER MANAGERをご使用ください (Preferences > Controller Manager)。
- TRAKTOR KONTROL X1's MIDIプロパティ (例えばMIDIチャンネルや個々のコントロールのCCナンバー) をカスタマイズするために、Controller Editorが入っています。より詳しい情報については、TRAKTOR KONTROL X1またはNative Instrumentsウェブサイトで用意されているController Editorマニュアルをご参照ください。



これら2つのモードは同時に使用することもできます。例えば、NHLモードでTRAKTORをコントロールすることもでき、SHIFTを押しながらHOTCUEを押して、MIDIモードへ切り換え、MIDI経由で他のハードウェアなどをコントロールすることができます。



MIDIモードはPreferences > Traktor Kontrol X1 > MIDI Modeというオプションを使い、「Switch to MIDI via SHIFT + HOTCUE」というチェックを外すことによって、完全にオフにすることもできます。

5.3 TRAKTOR KONTROL X1コントローラ機能

各TRAKTOR KONTROL X1ボタンには一次機能と二次機能があり、TRAKTOR KONTROL X1に直接ラベリングされています。一次機能は直接の機能で、ご希望のボタンを単純に押してください。二次機能へアクセスするには、SHIFTを押しながら、ご希望のボタンを押してください。例えば、

1. (左上の) FX 1 ONボタンを押して、TRAKTORのFX 1エフェクト・ユニットをオンにしてください。
2. SHIFTを押しながら、(左上の) FX 1 ONを押して、事前を選択したFX 1エフェクトのTRAKTORエフェクト (*Preferences > Effects > Effect Pre-Selection*) をステップ・スルーしてください。

6 TRAKTORでTRAKTOR KONTROL X1を使う

この章はTRAKTORでのTRAKTOR KONTROL X1の使用方法的詳細を説明し、TRAKTOR KONTROL X1のデフォルトマッピングの詳細説明を行います。



以下の機能とマッピングが全てTRAKTOR LEにあるわけではありません。LEには機能制限があるからです。そのため、このセクションで説明されているものとは少し違うでしょう。詳細については、セクション7.2をご参照いただくか、TRAKTOR KONTROL X1のクイック・スタート・ガイド・マニュアルをご覧ください。

6.1 エフェクト・セクション

つの高解像度のノブと8つのボタンにはエフェクト・セクションがあり、同時に2つのTRAKTORのエフェクトパラメータを全て完全にコントロールができます。



6.1.1 上部のつのFXボタンとノブ



一次機能

- TRAKTOR KONTROL X1の上部のつのボタンとノブは、TRAKTORのエフェクト・ユニットへ直接マッピングされています。

二次機能 (SHIFT)

- SHIFTを押しながらFX 1 ONを押すと、TRAKTORの事前選択されたエフェクトをステップ・スルーすることができます。
- SHIFTを押しながら、FXボタン1～3を押すと、そのFXボタンへマッピングされたエフェクトが直接選択されます。

6.1.2 FXアサイン・ボタン



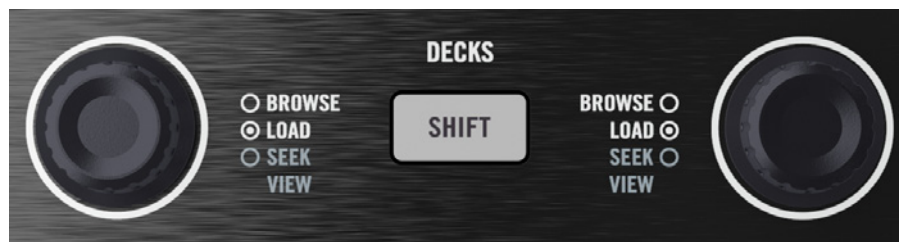
一次機能

- 左か右のどちらかのFXアサイン・ボタンを押すと、TRAKTORのデッキが対応するエフェクトへアサインされます

二次機能 (SHIFT) : 左のFXアサイン・ペア

- SHIFTを押しながら、左のFXアサイン・ボタンを押すと、対応するTRAKTORデッキのクロックがMASTERへ設定されます。
- SHIFTを押しながら、右のFXアサイン・ボタンを押すと、TRAKTORがSNAPモードへ切り替わります

6.2 ブラウズ・セクション



デッキ毎に1つあるプッシュ・エンコーダで、プレイリストをブラウズし、トラックを読み込むことができます。トラックが読み込まれると、同じエンコーダを使用して、トラックを探することができます。

これらの2つのノブはTRAKTORのブラウザをコントロールするために使用されます。



ループ・ノブには2つのコントロール、「押す」と「回す」があります。

一次機能

- BROWSEノブを回して、現在開かれているプレイリストをスクロールします。
- BROWSEノブを押すと、現在選択されているトラックがTRAKTORの各デッキへ読み込まれます。

二次機能 (SHIFT)

- SHIFTを押しながら、BROWSEノブを回すと、現在読み込まれているトラックを迅速に探すことができます。
- SHIFTを押しながら、BROWSEノブを押すと、TRAKTORのレイアウトが切り替わり(VIEW)、デッキが非表示になりBROWSEウィンドウが最大化されます。

6.3 ループ・セクション



ループ・セクションでは、TRAKTORのループ機能の直感的なコントロールが可能で、ボタンのLEDによりループの状況が視覚的に分かるようになっています。



ループ・ノブには「押す」と「回す」という2つのコントロールがあります。

一次機能

ループ・ノブ-押す

- ループ・ノブを押すと、現在有効になっているループをTRAKTORのデッキで現在選択されている長さにダイレクトに設定することができます。
- ループ・ノブを再度押すと、現在のループが無効になり、ループのINとOUTのボタンのライトが消えます。

ループ・ノブ-回す

- ループが有効になっていない時に、ループ・ノブを回すと、現在選択されているループの長さが変更されます。

- ループが有効な時に、ループ・ノブを回すと、有効になっているループの長さは、そのエンドポイントを移動することにより変わります。

ループ・イン・ボタン (INというラベル)

- ループ・インを押すと、手動のループ・イン・ポイントを設定できます。ループ・インが光りますが、それはTRAKTORがループ・アウト・ポイント待機していることを意味しています。
- ループ・アウト・ポイントを設定せずに、ループ・インを再度押すと、手動のループ設定が解除され、ループ・インのライトが消えます。

ループ・アウト/オート・ループ・ボタン (OUTというラベル)

- ループ・インの後で押すと、手動のループ・アウト・ポイントが設定されます。
- 前のループ・イン・ポイントを設定せずに (ループ・インは光りません)、ループ・アウト・ボタンだけを押すと、オート・ループが有効になります。
 - オート・ループは常に4小節分のループを設定、有効にします。これはTRAKTORでどのループ・サイズが現在選択されているかには関わりありません。



ループが有効な時にループ・ノブを押すと、手動もしくは自動のループが常に無効になります。

二次機能 (SHIFT)

ループ・ノブ-押す

- SHIFTを押したまま、ループを押すと、ループ機能が有効になり、TRAKTORは、そのトラックで保存されていた次のループ・ポイントをループします。

ループ・ノブ-回す

- SHIFTを押したまま、ループ・ノブを回すと、ループ全体が1つのビート・ステップごとに左または右に移動します。

6.3.1 ループの微調整

- ループをクオンタイズされていないステップで移動するには、ループ・イン・ボタンを押したまま、ループ・ノブを回してください。
- ループ・アウト・ポイントをクオンタイズされていないステップで移動するには、ループ・アウト・ボタンを押したまま、ループ・ノブを回してください。

6.4 トランスポート・セクション



TRAKTOR KONTROL X1の下部のボタン群で、TRAKTORのトランスポート・コントロールを行えます。TRAKTOR機能への直接アクセスに加えて、ボタンのライトはこれらの機能の状態が表示されます。

一次機能 (下から上へ説明)

- **PLAY:** 対応するTRAKTORデッキのプレイバックを有効にします。
- **SYNC:** 対応するTRAKTORのデッキのシンク機能を有効にします。
- **CUE | REL:** TRAKTORのINTERNAL PLAYBACKモードでは、一時的なキュー・ポイントを設定し、ボタンのライトが光ります。これはキュー・ポイントが設定されていることを意味します。これを再度押すと、トラックがそのキュー・ポイントへ戻り、プレイバックがストップします。
 - TRAKTORのスクラッチ・モードでは、このボタンはRELATIVEタイムコード・レコード・トラッキング・モードを有効にします。
- **CUP | ABS:** TRAKTORのInternal Playbackモードでは、CUE | RELと同じように機能しますが、前回の一時的なキュー・ポイントからプレイバックが始まります。
 - TRAKTORのスクラッチ・モードでは、このボタンはAbsoluteタイムコード・レコード・トラッキング・モードを有効にします。



トラックが再生されていると、このボタンはビートに合わせて点滅します。

- **< BEAT >:** 現在のプレイバック・ポジションが1ビート毎に左または右に移動します。



ビート・ジャンプ・ボタンは、フェーズ・メーター・オプションが選択されているか否かに関わらず、TRAKTORのフェーズ・メータと同じように光ります。

二次機能 (SHIFT) (下から上へ説明)

- **KEY:** 対応するデッキのキー・ロック機能を有効にします。
- **TAP:** テンポに合わせてタップし、読み込まれたデッキで、TRAKTORのオート・グリッド機能をガイドします。
- **⏮ CUE ⏭:** 左側のボタンはTRAKTORのデッキを現在読み込まれているトラックの始めの部分に強制的に戻します。右側のボタンは次に保存されているトラックのキュー・ポイントへスキップします。
- **⏮ BEND ⏭:** 対応するデッキのピッチ・ベンドを有効にし、トラックを一時的にスピード・アップしたり、スロー・ダウンします。
- **- TEMPO +:** 対応するデッキのテンポを手動で上げたり下げたりすることができます。

6.5 HOTCUEモード

HOTCUEボタンのみを押すと、TRAKTOR KONTROL X1のHotcueモードが有効になります。このモードにあると、HOTCUEボタンが白く光り、TRAKTOR KONTROL X1の下部のトランスポート・ボタン群がHotcueコントロールへ切り替わります。



下部の16のボタンがHOTCUEモードに切り替わります。

- HOTCUEボタンはボタンの左側に1～8とラベルされていて、これはHotcueの数を示しています。
- デフォルトでは、ループ・イン (HOTCUE 1) ボタンはトラックの最初に保存されたキュー・ポイントへマッピングされます。このキュー・ポイントはたいていの場合、トラックがTRAKTORにより解析される際に自動的にグリッド・マーカを設定します。トラックが再生されている最中に、HOTCUEグループのうち残りの7つのボタンのどれかを押すと、新しいキュー・ポイントが設定されます。ボタンが光りますが、これはHotcueが設定されていることを示しています。



TRAKTORのスナップ・モードは強制的に常にビートにのるよう設定します。

- トラックが再生している最中にボタンを再度押すと、TRAKTORはすぐにそのキュー・ポイントへスキップします。

- Hotcueが設定し、SHIFTを押しながら、(Hotcueモードにいる間に) 光っているHotcueボタンを押すと、そのキュー・ポイントは削除されます。ボタンは光らなくなりますが、これはキュー・ポイントが削除されたことを意味しています。
- DECK BROWSE、EFFECTS、LOOP KNOB、SNAP、QUANTは影響を受けず、Hotcueモードと同時に使用することができます。



HOTCUEモードにいる時は、ループ・ノブ (回して押す) を使用して、ループを設定、変更しなければなりません。

6.5.1 上級者向けのHotcueとHotloopの使い方

- TRAKTOR KONTROL X1とTRAKTORのHotcueの機能を利用することにより、保存されたキュー・ポイントへスキップして、トラックをライブでリミックスすることができます。TRAKTORのQuant機能がオンだと、Hotcueのスキップは常にシームレスになります。
- TRAKTORはキュー・ポイントとループ・ポイントを区別しませんので、HotcueはHotloopになることもできます。
- HotcueとHotloopは、個々のHOTCUEボタンへマッピングされていると、一緒に使うことができます。
- この上級機能は今まで不可能だったトラックとの相互作用が、TRAKTOR KONTROL X1とTRAKTORのパッケージを開けたらすぐに可能になります。

6.6 TRAKTORで2台のTRAKTOR KONTROL X1を使用する

TRAKTOR PROの4デッキとエフェクトを同時にコントロールするには、2台のTRAKTOR KONTROL X1が必要です。

- プラグ&プレイ機能で、2台目のTRAKTOR KONTROL X1を接続したらすぐに使用することができます。
- 2台目のTRAKTOR KONTROL X1のモードは一緒に使用することができます。例えば、1台目のTRAKTOR PROをNHLモードでコントロールし、2台目をMIDIモードでハードウェアなどをコントロールするのに使うことができます。
- 2台のTRAKTOR KONTROL X1はMIDIモードで操作し、いつでもTRAKTOR本来のモードに切り換えることができます。

6.6.1 TRAKTOR上での2台のTRAKTOR KONTROL X1のマッピング

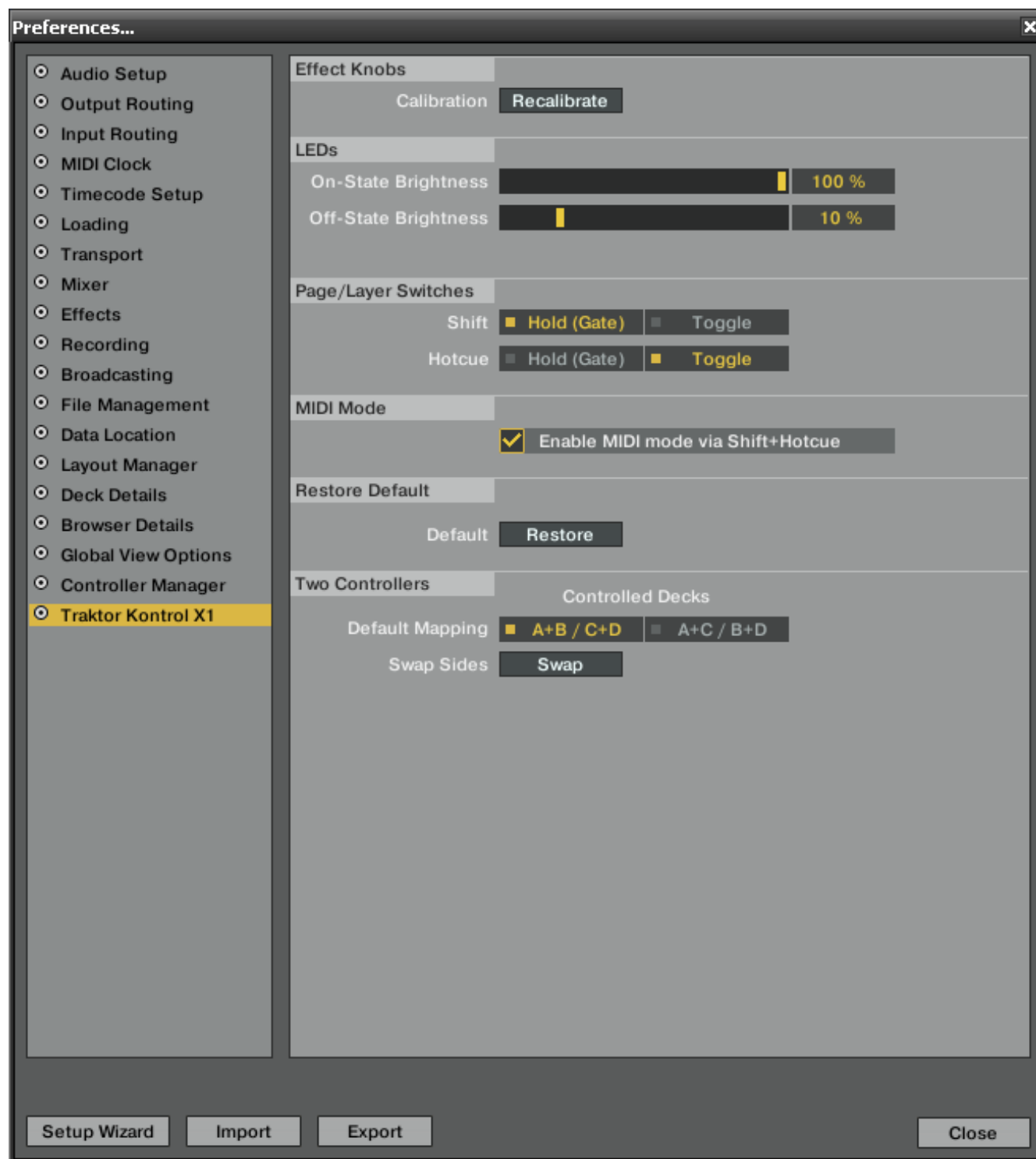
- TRAKTORでは、各TRAKTOR KONTROL X1はシリアル・ナンバーにより認識されます。
- TRAKTORの*Preferences > Traktor Kontrol X1 > Two Controllers*パネルで選択されているどんな設定でも、その設定はそのまま保持されます。
- TRAKTOR KONTROL X1を（例えば「右」とか「左」）にラベルすることができます。2台のTRAKTOR KONTROL X1を接続して、TRAKTORを起動すると、その設定は同じ実機のTRAKTOR KONTROL X1に対応します。

例えば、Preferencesの*Two Controllers*でA + B / C + Dを選択すると、1台目の実機のTRAKTOR KONTROL X1は常にTRAKTORのデッキA + Bをコントロールし、2台目の実機のTRAKTOR KONTROL X1は、デッキC + Dをコントロールします。

TRAKTORのマッピングを認識されたハードウェアへリンクスすると、カスタマイズされたマッピングと設定が、TRAKTOR KONTROL X1がどの順番でUSBでコンピュータで接続されたかによらず、復元されます。

さらにTRAKTOR KONTROL X1モードは2台で一緒に使用することもできます。例えば、1台目のTRAKTOR KONTROL X1がTRAKTORをNHLモードでコントロールし、また、2台目のTRAKTOR KONTROL X1は他のソフトウェア・デバイスをMIDIモードでコントロールします。

7 TRAKTOR KONTROL X1の詳細設定



TRAKTORのバージョン1.2.3以降では、詳細設定 (Preference) ページに新しいTraktor Kontrol X1という名前の項目があり、ここには以下のようなオプションがあります。

Effects Knobs – Calibration Button

製品寿命を経るにしたがい、上部の8つのアナログ・ボタンはずれることがあります。このボタンをクリックすると、TRAKTOR KONTROL X1のTRAKTORの絶対域と位置へ修正する処理が開始されます。TRAKTORは全てのノブを左、右、中央に回すように促します。

LED – Brightness

TRAKTOR KONTROL X1のLEDの強度を調節します。ONとOFFの明るさの状態は個々に調節できます。

Modifier Buttons

SHIFTとHOTCUEボタンの挙動をHold (Gate)からToggleの動作に調節します。

MIDI Mode

このボックスへチェックを入れると、TRAKTOR KONTROL X1はSHIFTとHOTCUEを同時に押すと、MIDIモードへ切り替わるようになります。

Restore Default: Restore

をクリックしてマッピングをデフォルトの状態に戻します。 この変更内容は Preferences パネルを閉じた後、または TRAKTOR KONTROL X1 をいったんはずし、再接続を行うと有効となります。

Two Controllers

2台のTRAKTOR KONTROL X1コントローラを使用する場合、このオプションは各TRAKTOR KONTROL X1がどのTRAKTORのデッキ・ペアコントロールするのかが選択でき、また、マッピングをデフォルトへ復元することができます。SWAPコマンドは2台のTRAKTOR KONTROL X1コントローラの1対1のマッピング交換が行われます。これはマッピングがデフォルトか、カスタマイズされているかには影響を受けません。

8 トラブルシューティング

この章にある説明で、TRAKTOR KONTROL X1を使用する際に遭遇する大半の問題を解決するのに役立つでしょう。

8.1 ハードウェアに関連する問題を解決する

Native Instrumentsのハードウェア製品は高いプロフェッショナルな要求に応えております。全ての製品は開発の段階で、実際の状況であらゆる角度からテストされています。ですが、ハードウェアで万が一問題が生じた場合は、トラブルシューティングとして以下のステップに従ってください。

- 最新版のドライバと最新版のソフトウェア・アップデートをインストールしているか確認してください。
- 情報をNative Instrumentsのウェブサイトで確認してください。
- TRAKTOR KONTROL X1ハードウェアがコンピュータのUSB 2.0に接続されているか確認してください。
- USBハブではなくコンピュータのUSBポートへ直接接続しているか確認してください。
- 別のUSBケーブルを試してみてください。
- コンピュータから他のUSBデバイスの接続を解除してください（キーボードとマウスは除く）。
- コンピュータの他のUSBポートを試してみてください。

上記のアドバイスがどれも役に立たなかった場合は、弊社のテクニカル・サポート・チームへご連絡ください。連絡先の情報は以下のURLに記載されています。

www.native-instruments.com/contactinfo

TRAKTOR KONTROL X1の返品が必要な場合は、Native Instrumentsのテクニカル・サポート・チームがRA (Return Authorization返品確認)ナンバーを割り振ります。これは返品の処理を行う際に必要になります。このRAナンバーがないまま返品したパッケージは正しく認識されず、そのような場合は適切に処理されませんのでご注意ください。



どんな製品でも返品を行う際は必ず事前にテクニカル・サポート・チームへご連絡ください。

8.2 USBのトラブルシューティング

TRAKTOR KONTROL X1とコンピュータ間のUSB接続で問題が生じた場合は、以下の項目をまずは確認してください。以下の項目では複数の可能性のある原因がカバーされています。

8.2.1 USB 2.0が必要です

TRAKTOR KONTROL X1はUSB 2.0のデバイスで、USB 1.0/1.1ポートでは動作しません。お持ちのコンピュータのマニュアルで、本当にUSB 2.0 (またはそれ以降) が搭載されているかどうかご確認ください。

8.2.2 他のUSBケーブルを試してみる

故障したUSBケーブルはオーディオの接続問題へつながる可能性があります。もし何か問題がありましたら、異なるケーブルを試してみることを強くお勧めいたします。公式のUSBロゴが付いたケーブルを必ずご使用ください。

8.2.3 電源供給が付いたUSB 2.0のハブを使う

TRAKTOR KONTROL X1を直接コンピュータのUSB 2.0のポートへ接続するのが一番ですが、TRAKTOR KONTROL X1を内蔵USBポートへ接続している際に問題がある場合は、電源供給が付いたUSBハブを接続することで解決することがあります。この場合は、できればハブへ他のデバイスを接続しないようにした方がよいでしょう。各バス・パワーのデバイスが使用可能な電源の総量を共有してしまうからです。

8.3 TRAKTOR KONTROL X1ソフトウェアのトラブルシューティング



常に現行の最新版のソフトウェアを必ず使用するようにしてください。大半の問題はソフトウェアまたはドライバをアップデートすることにより解消されることがあるからです。

TRAKTOR KONTROL X1のソフトウェアが適切に動作しているか否かを確認する簡単な方法は、単純にコンピュータへ製品を接続して、SHIFTを押したまま、HOTCUEを押してみることです (MIDIモードへの切り換え)。HOTCUEボタンが緑色に光り、MIDIモードが現在有効であることを示すはずです。説明した通りに動作する場合は、全てのTRAKTOR KONTROL X1ソフトウェアが正しく動作していることが分かります。TRAKTOR KONTROL X1のドライバとController EditorはMIDIモードに入るために正常に動作しなければならないからです。

8.3.1 Windows®でドライバをインストールする際の注意

他のUSBデバイスと同様、ドライバは1つのUSBポートのためにインストールされます。他のポートにTRAKTOR KONTROL X1を接続する場合は、標準的なWindows®ダイアログが開き、そのポートへドライバをインストールできるようになります。

- 以前にドライバをコンピュータにインストールしたことがある場合は、Windows®は正しいドライバを見つけ出します。
- コンピュータ上にドライバをインストールしていなかった場合は、Windows®は間違ったドライバをインストールする場合があります。
- 過去にTRAKTOR KONTROL X1のドライバをコンピュータへインストールしたかどうか分からなくなった場合は、TRAKTOR KONTROL X1のスタンドアロンのインストール (セットアップ) プログラムを起動することをお勧めいたします。セットアップ・プログラムがドライバをアンインストールしたと言及していれば、すでにコンピュータをドライブしたことがあるということになります。この場合は、他のUSBポートへデバイスを接続し、Windows®が他のUSBポートへTRAKTOR KONTROL X1をインストールする際に、正しいドライバを見つけ出します。

8.3.2 ドライバのアップデート

- TRAKTOR KONTROL X1のアップデートについてはNative Instrumentsのウェブサイトを定期的にご確認ください。

8.3.3 USBの省エネ・モードを無効にする (Windows®のみ)

TRAKTOR KONTROL X1がWindows®マシンでうまく動作しない場合は、まずはUSBハブの電源管理を無効にしてみてください。Windows® XPではデフォルトでこれはオンになっています。

USBハブの電源管理を無効にする方法は以下の通りです。

1. デバイス・マネジャーを開いてください (*Control Panel > System > Hardware*) 。
2. USBハブを右クリックして、そのプロパティを開いてください。
3. 電源管理のページで、全てのボックスのチェックを外してください。
4. 各ハブについてこれを繰り返し、再起動してください。

9 Getting Help

9.1 Readme/Knowledge Base/Online Support

9.1.1 Readme

インストールDVDまたはダウンロードしたアップデートに同梱されているReadmeファイルを常に読むようにしてください。これには重要な情報や本マニュアルでは記載できなかった最新の変更点が含まれています。

9.1.2 Knowledge Base

以下のナレッジ・ベースへアクセスいただけます。

www.native-instruments.com/knowledgebase

ナレッジ・ベースで検索するには、まずお持ちのユーザー・アカウントでログインする必要があります。製品登録に関する詳細情報は、以下の章をご覧ください。エラー! 参照元が見つかりません。 “Error! Reference source not found..”

9.1.3 オンライン・サポート

以下のオンライン・サポートにご連絡いただけます。

www.native-instruments.com/productsupport

以下のフォームでは、お持ちのハードウェアとソフトウェアの環境の全ての情報を記載する必要があります。これは弊社のサポートが円滑にサポートを進めるためです。入力された項目はブラウザのクッキーに保存されますので、2回目にサポート・リクエストを行う際には、これらは自動的に再現されます。

10 付録

10.1 TRAKTOR PRO/SCRATCH PROデフォルト・マッピング一覧表

番号	ラベル	タイプ	一次機能	二次機能 (SHIFT)
1	PLAY	Button	デッキのプレイバックを開始します	デッキのキー・ロックをオン/オフに切り換えます。
2	SYNC	Button	現在読み込まれたトラックをマスター・テンポヘシンクさせる	トラックのテンポを検出するためのリズム・タッピングを可能にします。
3	CUE REL	Button	Internal Playbackモードの場合： 押している間は、有効になっているキューポイントからプレイします。デッキが再生されていない場合は、キューを設定します。 Timecodeモード Relativeモードへ切り替わります。	トラックのスタート・ポイントへジャンプします。
4	CUP ABS	Button	Internal Playbackモード： 有効なキュー・ポイントからプレイバックが開始します。 Timecodeモード： Absoluteモードへ切り換わります。	次のキュー・ポイントへジャンプします。

5	< > BEAT	Button	デッキのトラックで、(1つのビート分前後にジャンプします (デフォルト)	ビート・ジャンプの代わりに、ピッチベンドへ切り替わります。
6	IN	Button	一時的なキュー/ループ・イン・ポイントを設定します。	トラックのテンポを遅くします。
7	OUT	Button	ループ・イン・ポイントが設定されていた場合は、ループ・アウト・ポイントが設定されます。ループ・イン・ポイントが設定されていなかった場合は、4ビート分のループを有効にします。	トラックのテンポを上げます。
8	Loop Encoder	Button	エンコーダを回す： ループ・サイズを選択します。 エンコーダを押す： 選択したサイズでループを設定します。	エンコーダを回す： ループを移動します。 エンコーダを押す： ループの有効/無効を切り換えます。
9	HOTCUE	Button	Hotcueページを有効にして、デッキ毎に下部にある8つのボタンを全て8つのHotcueボタンへ変えます。Hotcueボタンはすぐに光っていない (空の) スロットへ保存することができます。	選択されたHotcueのスロットを削除します。ボタンは光っている状態から消えている状態に切り替わります。
10	Browse Encoder	Encoder	エンコーダを回す：選択したプレイリストをブラウズします。 エンコーダを回す：選択したトラックをデッキへ読み込みます。	エンコーダを回す：読み込んだトラックを探します。 エンコーダを押す：ブラウザ・ビューを開き/閉じます。
11	SHIFT	Button	「SHIFT」による二次機能を有効にします。詳細については、この表の対応項目をご覧ください。	二次機能はアサインされません。

12	FX 1	Button	エフェクト・スロット1をデッキへアサインする	デッキを「Master」へ切り換えます。
13	FX 2	Button	エフェクト・スロット2をデッキへアサインします。	左側のデッキのボタンにより、Snapを有効にします。 右側のデッキのボタンにより、Quantizedモードを有効にします。
14 A	1 / 2 / 3	Button	Chained FXモード： 対応のエフェクトを有効/無効にします。 Advanced FXモード： 対応するFXパラメータをコントロールします。	Chained FXモード： FXリスト上の次のエフェクトを選択します。 Advanced FXモード： ユニットのコントロール・パネルでラベリングされたFXを選択します（デフォルト、再度アサインが可能です）。
14 B	1 / 2 / 3	Knob	Chained FXモード： 対応するエフェクトをコントロールします。 Advanced FXモード：対応するエフェクト・パラメータをコントロールします。	アサインされていません。
15	ON	Button	Chained FXモード： アサインされていません。 Advanced FXモード： エフェクトを有効/無効にします。	Chained FXモード： アサインされていません。 Advanced FX： FXリスト上の次のエフェクトを選択します。
16	DRY / WET	Knob	コントロール・エフェクトのドライ/ウェットの比率をコントロールします。	アサインされていません。

10.2 TRAKTOR DUO/SCRATCH DUOのデフォルト・マッピング 一覧表

番号	ラベル	タイプ	一次機能	二次機能 (SHIFT)
1	PLAY	Button	デッキのプレイバックを開始します。	デッキのキー・ロックをオン/オフに切り換えます。
2	SYNC	Button	現在読み込まれたトラックをマスター・テンポへシンクさせる。	トラックのテンポを検出するためのリズム・タッピングを可能にします。
3	CUE REL	Button	Internal Playbackモードの場合： 押している間は、有効になっているキュー・ポイントからプレイします。デッキが再生されていない場合は、キューを設定します。 Timecodeモード Relativeモードへ切り替わります。	トラックのスタート・ポイントへジャンプします。
4	CUP ABS	Button	Internal Playbackモード： 有効なキュー・ポイントからプレイバックが開始します。 Timecodeモード： Absoluteモードへ切り換わります。	次のキュー・ポイントへジャンプします。
5	< > BEAT	Button	デッキのトラックで (1つのビート分前後にジャンプします (デフォルト))	ビート・ジャンプの代わりに、ピッチベンドへ切り替わります。
6	IN	Button	一時的なキュー/ループ・イン・ポイントを設定します。	トラックのテンポを遅くします。

7	OUT	Button	ループ・イン・ポイントが設定されていた場合は、ループ・アウト・ポイントが設定されます。ループ・イン・ポイントが設定されていなかった場合は、4ビート分のループを有効にします。	トラックのテンポを上げます。
8	Loop Encoder	Encoder	エンコーダを回す： ループ・サイズを選択します。 エンコーダを押す： 選択したサイズでループを設定します。	エンコーダを回す： ループを移動します。 エンコーダを押す： ループの有効/無効を切り換えます。
9	HOTCUE	Button	Hotcueページを有効にして、デッキ毎に下部にある8つのボタンを全て8つのHotcueボタンへ変えます。Hotcueボタンはすぐに光っていない(空の)スロットへ保存することができます。	選択されたHotcueのスロットを削除します。ボタンは光っている状態から消えている状態に切り替わります。
10	Browse Encoder	Encoder	エンコーダを回す：選択したプレイリストをブラウズします。 エンコーダを回す：選択したトラックをデッキへ読み込みます。	エンコーダを回す：読み込んだトラックを探します。 エンコーダを押す：ブラウザ・ビューを開き/閉じます。
11	SHIFT	Button	「SHIFT」による二次機能を有効にします。詳細については、この表の対応項目をご覧ください。	まだアサインされていません。
12	FX 1	Button	アサインされていません。	アサインされていません。
13	FX 2	Button	アサインされていません。	アサインされていません。

14 A	1 / 2 / 3	Button	対応のエフェクトを有効/無効にします。	FXリスト上の次のエフェクトを選択します。
14 B	1 / 2 / 3	Knob	対応するエフェクトをコントロールします。	アサインされていません。
15	ON	Button	アサインされていません。	アサインされていません。
16	DRY / WET	Knob	コントロール・エフェクトのドライ/ウェットの比率をコントロールします。	アサインされていません。

10.3 TRAKTOR LE Default Mapping Table

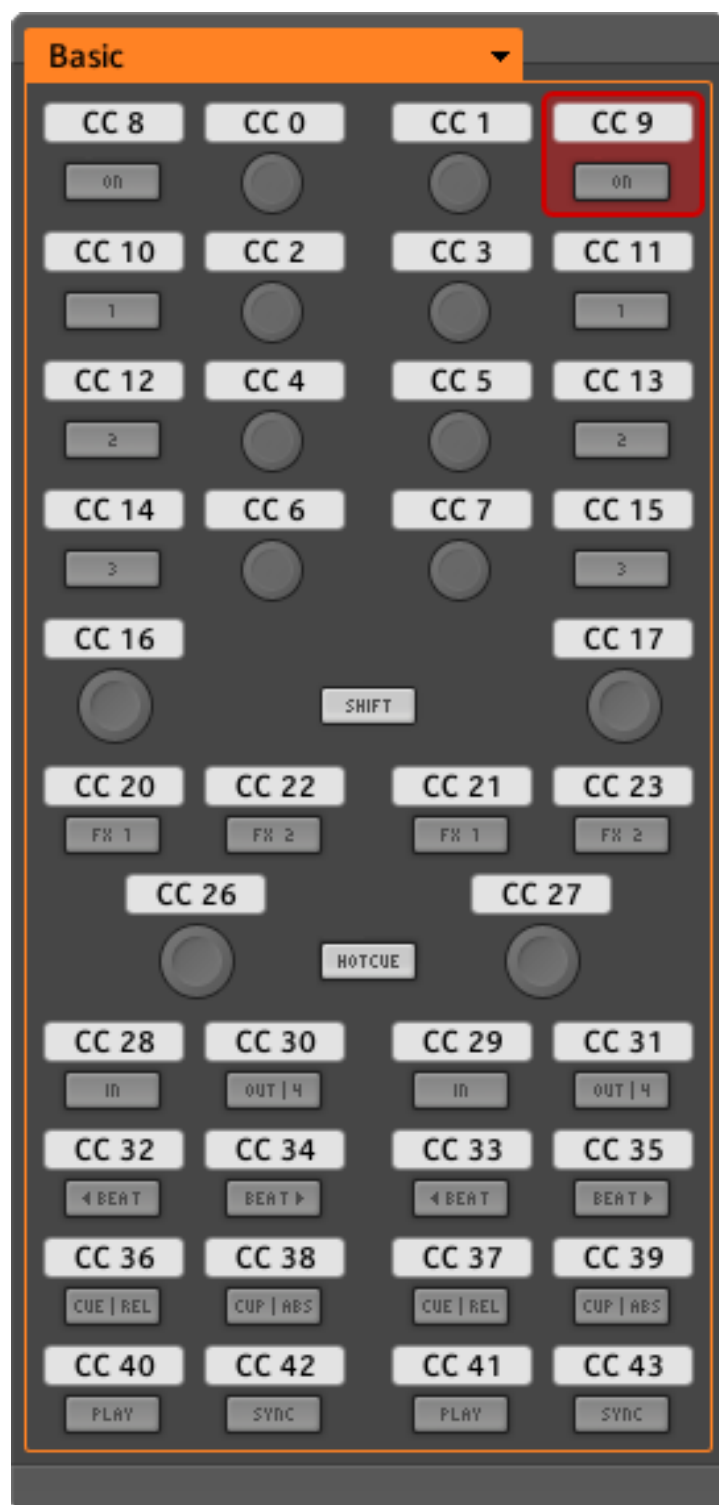
番号	ラベル	タイプ	一次機能	二次機能 (SHIFT)
1	PLAY	Button	デッキのプレイバックを開始します。	デッキのキー・ロックをオン/オフに切り換えます。
2	SYNC	Button	現在読み込まれたトラックをマスター・テンポヘシンクさせます。	トラックのテンポを検出するためのリズム・タッピングを可能にします。
3	CUE REL	Button	押している間は、有効になっているキュー・ポイントからプレイします。デッキが再生されていない場合は、キューを設定します。	トラックのスタート・ポイントへジャンプします。
4	CUP ABS	Button	有効なキュー・ポイントからプレイバックが開始します。	アサインされていません。
5	< > BEAT	Button	現在のトラックをピッチベンドします。	アサインされていません。
6	IN	Button	一時的なキュー/ループ・イン・ポイントを設定します。	トラックのテンポを遅くします。

7	OUT	Button	ループ・イン・ポイントが設定されていた場合は、ループ・アウト・ポイントが設定されます。ループ・イン・ポイントが設定されていなかった場合は、4ビート分のループを有効にします。	トラックのテンポを上げます。
8	Loop Encoder	Encoder	エンコーダを回す：ループ・サイズを選択します。 エンコーダを押す：選択したサイズでループを設定します。	ループの有効/無効を切り換えます。
9	HOTCUE	Button	アサインされていません。	アサインされていません。
10	Browse Encoder	Encoder	エンコーダを回す：選択したプレイリストをブラウズします。 エンコーダを回す：選択したトラックをデッキへ読み込みます。	エンコーダを回す：読み込んだトラックを探します。 エンコーダを押す：ブラウザ・ビューを開き/閉じます。
11	SHIFT	Button	「SHIFT」による二次機能を有効にします。詳細については、この表の対応項目をご覧ください。	アサインされていません。
12	FX 1	Button	以前のFXを対応するFXスロットへ選択します。	デッキを「Master」へ切り換えます。
13	FX 2	Button	次のFXを対応するFXスロットへ選択します。	アサインされていません。
14	Pot 3	Knob	対応するデッキのフィルタをコントロールします。	アサインされていません。
15	Button 3	Button	対応するデッキのフィルタを有効/無効にします。	アサインされていません。

16	Pot 2	Knob	対応するデッキのPANをコントロールします。	アサインされていません。
17	Button 2	Button	アサインされていません。	リバーブ・エフェクトを読み込みます。
18	Pot 1	Knob	対応するエフェクトをコントロールします。	アサインされていません。
19	Button 1	Button	アサインされたエフェクトを無効/有効にします (Toggle)。	ディレイ・エフェクトを読み込みます。
20	Dry/Wet	Knob	エフェクトのドライ/ウェットの比率をコントロールします。	アサインされていません。
21	ON Button	Button	アサインされているエフェクトを有効にします (hold)。	フランジャー・エフェクトを読み込みます。

10.4 TRAKTOR KONTROL X1デフォルトMIDIマッピング一覧表

10.4.1 基本MIDIマッピング



10.4.2 SHIFTボタンでのMIDIマッピング

